

高知市立横浜小学校の研究について



横浜小研究主題

いきいき わくわく すくすく

～小さな「できた!」、大きな「やったあ!」
を味わう授業づくり～



主題設定の理由

- ① **社会の情勢から**
 - ・ **人間関係の希薄さ**
 - ・ **生活習慣の乱れ**
 - ・ **体力の低下**
 - ・ **学力・体力の二極化**

主題設定の理由

② 学習指導要領から

豊かなスポーツライフ実現のための
基礎を培う

- ・ 運動の楽しさ, 喜び
- ・ 指導内容の明確化と定着
- ・ 体力向上を重視
- ・ 保健学習の改善

主題設定の理由

③ 体育科の目標

生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる

運動ができる

運動への意欲

考えたい
工夫したい

意図的・計画的な指導

主題設定の理由

④ 子どもの実態から

- 運動好きな児童が多い
- 二極化傾向
- 「できる」や思考面の評価は若干低い
- こっこっ取り組むことが苦手



小さな「できた」を集めて

かいっぱい
できた！

安全に
できた！

仲よく
できた！

できるよう
になった！



コツを見つけ
られた！

楽しく
できた！

大きな「やったあ！」へ

4つの柱で取り組む

授業改善

体育的活動の充実



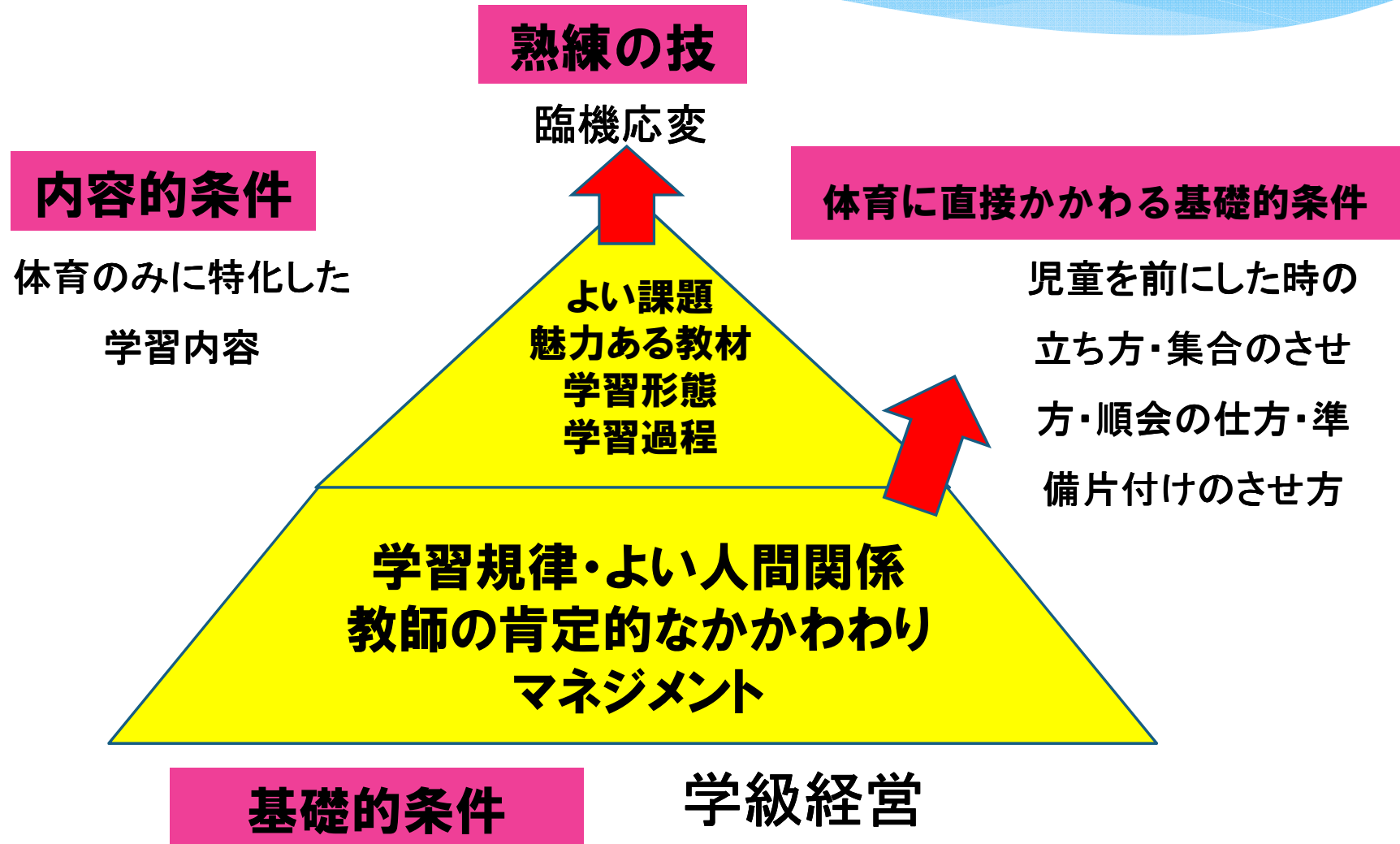
環境整備

地域・家庭との連携

授業づくりのコンセプト

- ★ 運動好き(体育の授業好き)
- ★ 意図的・計画的
- ★ 既習の学習から
- ★ 適切な学習課題
- ★ 課題解決的な学習
- ★ ペアやグループでの学習

授業力向上に向けた指導の基礎・基本の共有



**授業改善
体育授業の充実**

年間計画に沿った授業



- ☆ **魅力ある教材の工夫**
- ☆ **運動の特性に応じた動きづくり**

- ☆ **言語活動（かかわり）**
- ☆ **評価と指導・支援**
- ☆ **支援を要する児童を大切にする
（ユニバーサルデザインの視点から）**

学力向上に向けて

学び方の共有

1人で活動する。

課題発見

思考錯誤

友だちと一緒に活動する。

教え合い

友だちからの評価

言語化して伝える



友だちの伸びに
気付く！

できる（できそうな）
自分に気付く！



達成感！

自己肯定感の
高まり



**授業改善
体育授業の充実**

体育TTと担任による授業

1・2年生に重点を置く



**単元のスタートは、
担任とめあての確認**

**安全の確保
課題別学習に対応
器械運動（遊び）には全学年に入る**



**個人差に対応
安全の確保
低学年の水遊び**

体育連絡簿で学習内容確認・時間調整

授業改善
体育授業の充実

研究授業

特別支援学級

1年



全校研 4本
ブロック研 3本

4年

5年



昨年度は全学年で
器械運動（遊び）
取り組んだ。

**体育的行事
の充実**

**わくわくローテーション遊び
(異学年交流)**



**上級生はガキ大将!!
(遊びの復活)**

**体育的行事
の充実**

**わくわくタイム
(業前全校体育)**

毎週木曜日の朝の活動



体力づくり・朝のめざめ

体育的行事 の充実

いのち 生命の集会 (保健参観日)



ゆうかい「元気パワーは3つの色だ」



3年「健康！心も体もイイ感じ！」



2年「おいしい牛乳のひみつ」



6年「健康な未来に向かって
～生活習慣病の予防～」

体育的行事 の充実

生命の集会 (保健参観日)



1年「これでまいにち
けんこううんち」



4年「大人に近づかってどういうこと？」



5年「自分の身を守れ！横浜っ子!!」

**体育的行事
の充実**

**校外体育行事への
積極的な参加**

- ☆ **水泳記録会**
- ☆ **陸上記録会**
- ☆ **鏡川ジュニア駅伝**
- 高知城クロスカントリー**
- ☆ **バスケットボール交歓会**

わくローテを含む
5つの内、どれか
の担当となり、中
心として運営する。

全校で協力体制を整え、教職員全員で指導にあたる。

環境整備

校内の整備

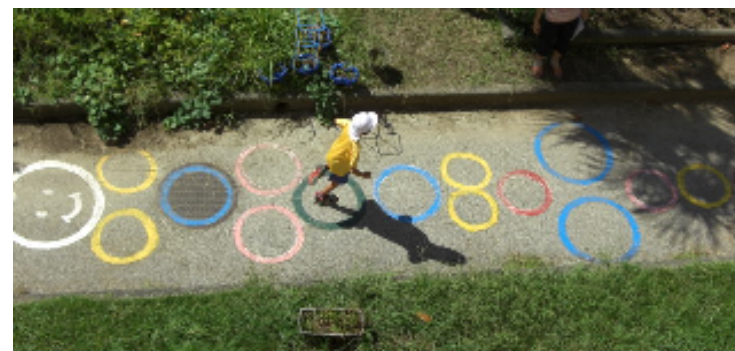
鉄棒下の人工芝



体育館に技の掲示



ジャンピングボード



ケンパコース

**地域・家庭
連携**

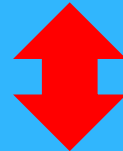
- ★ **親子体操教室（保・小の連携）**
- ★ **地区民運動会への参加**
- ★ **新体力測定の実施**

あと一步前進!

発達の段階に応じた研究
= 低中高の体育は何が違うのか
(楽しさ分析・授業の進め方・課題解決の方法)



運動への愛好的な態度 (楽しさ)



できる・のびることの保障



研究成果を共有しやすいシステムの構築

あと一步前進!

体育における思考・判断(言語活動)が深まる授業の構築

- ★ 児童が思考の前提となる情報をもつ
- ★ 教師が思考を促す手立てを施す
- ★ 児童にとって思考の手順が分かる

掲示物
資料
助言
グルーピング
場の設定
発問

チームに適した
作戦が深まる

効果的な攻撃が
わかる

活動を振り返り、課題が明確になる

何を課題にすべきかわかる

教え合いが活発で、
自己評価できる

技能のポイントが
わかる

いきいきした笑顔がはじけるような授業 思わず歓声上がるような授業



ご静聴ありがとうございました。